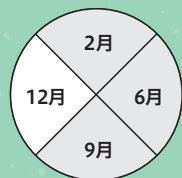


今回の定例会は



# ロクマル

市議会だよりさいたま | No.85 2021.2.1

ロクマル = 60 60人の議員は市民の代表。さいたま市議会の動きをコンパクトに伝えます。

## 俳優・大野拓朗さん インタビュー

市議会のことや自身の育ったさいたま市のこと、  
コロナ禍での海外経験などを語っていただきました。

[www.city.saitama.jp/gikai/](http://www.city.saitama.jp/gikai/)





## 自分たちの住むまちのこと やっぱり気になりますよね！

映画やドラマ、舞台上で活躍中の大野拓朗さんに、コロナ禍の海外経験で感じたことや、ご自身が育ったさいたま市について、お話しいただきました。

# 大野拓朗さん

おおの・たくろう

1988年東京都生まれ、さいたま市で育つ。2009年「第25回ミスター立教」選出をきっかけに、2010年の映画『インシテミル〜7日間のデス・ゲーム〜』でデビュー。大河ドラマ『花燃ゆ』『西郷どん』、連続テレビ小説『とと姉ちゃん』『わろてんか』などに出演。『ラストアタック』『ペビーシッター・ギン!』主演のほか、『Let's 天才てれびくん』ではMCを務めるなど、映画やドラマ、舞台、CMなどで幅広く活躍。

——ご出身は東京ですが、さいたま育ちだそうですね。

小学校卒業と同時にさいたま市に引っ越し、上大久保中学校、市立浦和高等学校を卒業して、大学にもさいたま市から通いました。高校生の頃は北浦和駅周辺でよく遊んでいて、食べ放題のお好み焼き屋さんに行ったり、そのあと北浦和公園で2次会（もちろんジューズで笑）って感じでした。なので、青春時代を過ごしたさいたま市にはすごく愛着があります。

デビュー以降は東京で一人暮らしですが、さいたま市での仕事もたびたびあり、桜区の実家にもよく帰ります。芸術劇場の蜷川幸雄さんの舞台にも出させていただきましたし、新都心の映画館で舞台挨拶をさせていただきました時には、学生時代にいつも訪れていた場所でもあり、凱旋したようですよ。くうれしかったです。

——2019年12月、2020年7月、ニューヨークに語学留学されました。

世界中を飛び回るのが夢だったので、英語が話せずコンプレックスでした。また、30代を迎える頃に身近な方が若くして亡くなり、「人生を大切に、後悔しない生き方をしたい」と強く思ったんです。もっと成長したいと思い、留学を決めました。

渡米3カ月目から、コロナの影響でステイホーム状態となりました。大変でしたが、ロックダウン下のニューヨークの人々からは、どんな環境でも限られた時間を充実させようという強い意志を感じました。

また、ニューヨークでは多くの人が政治に強い関心を持って、自身の意見を言葉にしていたのが印象的です。地下鉄で大統領選挙の応援パフォーマンスを見かけたりと、政治を身近に感じました。

——今日は感染予防のため、インターネット中継でさいたま市議会を傍聴いただきました。

自分たちの住むまちを、より良くしていこうっていう議論ですからね。気になりますし、楽しかったですよ。議員さんの質問に「なるほど、確かにそうだ」と思ったし、

それに対する市の答えにも「そういうことか」と、すごく勉強になりました。画面越しでも議員さんの熱が伝わってきましたが、言葉づかいが難しいと感じる部分もあったので、もう少しわかりやすい表現にしてくれたらいいと思います。

別の日には僕の地元・桜区の開発に関する質問もあるようで、気になっています。どうなるのかすごく知りたい！

市議会では身近なことが議論されているので、「政治には興味がない」「聞いてもわからない」などとあまり難しく考えず、気になる議題を見つけて、気軽に傍聴してみればいいんだとわかりました。ロクマルのように、コンパクトにまとめてくれる広報紙もありますね。文章化したものを読めば、さらに理解が深まると思います。

——大野さんが思う、さいたま市のいいところ・気になるところは？

田園風景が結構好きで、引っ越した家の目の前で、生まれて初めて水田を見た時はとても感動しました。開発が進んで景観が変わっていくのは少し寂しいですが、地元が発展していくのはうれしいですし、ワクワクしますね。

東京へのアクセスが便利な一方で、電車の通勤ラッシュや道路の渋滞のひどさは、改善してほしいですね。市議会でも、交通の問題は議論されているということなので、ぜひ注目していきたいです。もっとたくさんの方が住みたくなる、より便利なまちにしてほしいと思います。

——今後のビジョンは？

3月からロサンゼルスに短期留学します。仕事のため一度帰国しますが、その後もう一度渡米し、演劇学校に通ったり、オーディションに挑戦したりする予定です。ゆくゆくは、日米両国で活躍できる俳優になれたらと思っています。

僕は、愛するさいたま市から、世界へ飛び立つべく、人生をかけて挑戦し続けます。そんな大きな挑戦を続ける僕の姿を通して、皆さんに勇気や元気をお届けできればと思います。ぜひとも、応援してもらえたらうれしいです。

愛するさいたま市から  
世界へ飛び立つべく、  
人生をかけて挑戦し続けます。



インターネット議会中継を傍聴する大野さん



大野さんと議長、リモート対談の様子



議案第169号 さいたま市総合振興計画基本計画の策定について  
議員提出議案第16号 議案第169号「さいたま市総合振興計画基本計画の策定について」に対する附帯決議

## さいたま市総合振興計画基本計画を可決

9月定例会において閉会後も継続して審査することとしていた本市の次期総合振興計画基本計画の策定に関する議案は、特別委員会での審査を経て、可決されました。

可決に際しては、次期計画の実施に当たり、新型コロナウイルス感染症による影響など社会経済状況の変化を注意深く見極めながら、施策展開の変更の必要性について検討し、必要に応じて、可能な限り速やかに次期計画の見直しを行うことなどを求める附帯決議がなされています。



議員58人で構成する特別委員会での審査

議案第179号 令和2年度さいたま市一般会計補正予算(第17号) ほか6議案

## 32億円超の補正予算議案を可決

新型コロナウイルス感染症の再拡大に対応可能な検査・医療体制の整備をはじめ、ひとり親世帯や市内飲食店などへの支援、税証明等交付申請における手続きの電子化などを目的とした、総額32億円を超える令和2年度補正予算議案が提出され、可決されました。

### <主な事業>

- インフルエンザ流行期に向けたPCR検査体制の強化(5億8,377万円)
- ひとり親世帯臨時特別給付金(1世帯5万円、第2子以降1人3万円)の再支給(5億2,000万円)
- 県の営業時間短縮要請に伴う飲食店などへの協力金に市が14万円の上乗せ支給(2億4,158万円)

委員会提出議案第7号 新型コロナウイルス感染症に関する検査体制の拡充等を求める決議

## 新型コロナの検査体制拡充と支援制度創設を

新型コロナウイルスの集団感染を防止し、重症者の発生を食い止めるため、施設入所者や従事者に対する検査の実施などに対する支援を求める決議案が保健福祉委員会から提出され、可決されました。

議員提出議案第15号 学校体育館への空調設備の設置に係る緊急防災・減災事業債の事業期間の延長等を求める意見書 ほか1議案

## 市議会から国へ意見書を提出

議員提出による以下の意見書案が可決されました。意見書は、国会や関係行政庁に提出されます。

- 学校体育館への空調設備の設置に係る緊急防災・減災事業債の事業期間の延長等を求める意見書
- ICTを活用した家庭学習に係る通信費の継続的な支援を求める意見書

12月定例会で審議された議案 ▶ 市長提出議案44件、議員提出議案3件、委員会提出議案1件 / 合計48件



# 議員のQ&A 市のA

12月定例会「一般質問」ダイジェスト

## 市の政策・行財政

さいたま市\*DX推進本部  
設置の狙いは

**Q** 本市は11月、デジタルトランスフォーメーション(DX)推進本部を設置した。時流を捉えた積極的な取組みと考えるが、なぜ今なのか、その狙いは。

**A** コロナ禍を契機に行政のデジタル化の遅れが強く認識された。国はデジタル庁の新設や行政手続きのデジタル化を進めており、本市もオンライン申請をはじめ取組みを加速させる必要がある。市民サービスの向上と市役所業務の効率化を図り、非常時にも継続可能な行政サービスを実現するため、DX推進本部を設置した。具体的な施策については、窓口のオンライン化、テレワーク、データ活用、業務効率化の4つのワーキンググループに分かれ、年度末までに取組みの方向性をまとめするなど、スピード感を持って推進していきたい。

性暴力のない社会を目指し  
実効性ある条例の制定を

**Q** 現在策定を進めている犯罪被害者等支援条例(仮称)において、市の責務として性暴力被害者への支援をどのように扱い、実効性ある取組みにしていくのか伺う。

**A** 条例制定懇話会において、特に性犯罪については心理的外傷からの回復は長期におよび、相談内容も多岐にわたることから、長期的な支援が必要であるなど、専門的知見から意見をいただいている。これらの意見は可能な限り反映し、条例の制定を進めるとともに、具体的な支援の内容については要綱で定め、より実効性のあるものにしていく。また、再犯防止策については、加害者更生プログラムなどに取り組んでいる民間団体などを周知するとともに、市が実施する悩み相談などで案内していく。

岩槻区内の消防体制  
適正な配置となっているか

**Q** 岩槻消防署の移転に伴い、岩槻区南中部、国道16号以南が一時的に空白となっている。岩槻区での消防力適正配置について、見解を伺う。

**A** 岩槻区の消防体制は、7月に岩槻消防署を移転、10月に消防隊1隊を増強して消防力の強化を図ったことにより、1署3出張所、車両19台、総勢144名の人員となっている。国道16号以南の消防力については、現在、救急車の位置情報を指令センターでリアルタイムに確認しており、行政区にかかわらず最も近い救急車を出場させ

市民の生命・身体・財産を守る消防活動  
さらなる消防体制の充実・強化が望まれる



## 質問者

鳥海敏行／高野秀樹／吉田一郎  
関ひろみ／竹腰 連／出雲圭子  
稲川智美／川村 準／西山幸代  
新井森夫／西沢鈴子／松本 翔  
江原大輔／島崎 豊／斉藤健一

## 一般質問

15人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

### \* デジタルトランスフォーメーション(DX)

将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。  
→くわしくは裏表紙「ロクマルキーワード」をご覧ください。

る体制をとっている。また、平成31年4月に見沼消防署を見沼区片柳地区に移転したことから、岩槻区南部での災害の発生にも迅速に対応できているものと考えている。

### 市税などの納付に スマホ決済を導入すべき

**Q** コロナ禍で税収の減少が見込まれる今だからこそ、市税をはじめ介護保険料や保育料などの納付に、市民にとってメリットが非常に大きいスマホ決済を導入すべき。

**A** スマートフォン決済アプリを利用した市税の納付は、さらなる納付機会の拡大や納税者の利便性向上のほか、感染症の拡大防止にも有効と考える。他都市でも急速に導入が進んでいることや、システム改修経費などを低く抑えられることなどを踏まえ、本市でも、主に個人を対象とする市県民税や固定資産税・都市計画税、国民健康保険税などについて、令和3年度中の導入を目指し、スピード感を持って進めていきたい。



アプリでバーコードを読み取ることで  
スマホ決済による市税納付が可能となる

また、保育料や給食費など税以外の公金への拡大についても、部局横断的に働きかけ、一日も早く順次導入していきたい。



### 福祉・保健・医療

#### 新都心周辺の保育ニーズに 市はどう対応するのか

**Q** 市の保育所が不足している中、さいたま新都心駅周辺に巨大マンションが建設され、新たな保育需要が想定される。その保育需要の高まりに市はどう対応するのか。

### A

本市では、さいたま新都心駅周辺において、令和4年4月までに新たに約500人の保育需要が見込まれることから、周辺地域を保育所整備重点地域に設定し、今年度からは認可保育所の施設基準を緩和する範囲を拡大するとともに、整備に対する補助制度の拡充などを行った。令和3年4月には周辺約2kmの範囲に10施設・定員591人分の認可保育所などの開設を計画しており、引き続き優先度を上げて保育所などの整備案件の募集を行うなど、保育の受入枠の確保に取り組んでいく。

#### 市立特別支援学校に 転学制度の創設を

**Q** 医療的ケア児を受け入れている市立特別支援学校には転学制度がない。転入や遠距離の県立学校に通えなくなった児童のために制度を設けるべきと考えるが、見解は。

### A

本市では、肢体不自由と知的障がい有し、通学が困難な児童生徒のため、市立特別支援学校を2校設置し

### A

ている。同校への転学制度の創設については、まずは相談があった学年において受入れが可能かどうかを判断し、その状況が整った場合に転学ができるよう、今後、転学の仕組みについて検討していきたい。これまでも県教育委員会と連携をしながら、今後もより一層の連携を深めていく必要があると考えている。これからも障がいのある児童生徒の教育に対し、最善の努力をしていきたい。

#### 福祉丸ごと相談センターに \*ケアラー支援員を配置すべき

**Q** 「福祉丸ごと相談センター」にケアラー支援員を配置し、相談体制を整備するとともに、部局横断的な担当部署の設置により実態に合った支援を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。

### A

福祉丸ごと相談センターは設置から半年が経過したところであり、ケアラー支援員の配置は、これまでの相談実績などを踏まえ、介護者からの相談にどのように応じ

\* ケアラー、ヤングケアラー  
「ケアラー」とは、高齢や障がい、病気などの家族や身近な人に対し、無償で介護や日常生活上の世話をしている人をいう。県の条例では、そのうち特に18歳未満の人を「ヤングケアラー」と定義している。



ていくかを研究していきたい。  
また、部局横断的な担当部署の設置、電話やSNSなどによる相談体制についても、県や他政令指定都市の事例などを参考に研究していきたい。介護者支援は実態把握が難しく、問題が表面化しにくい側面もあることから、支援事業をしっかりと実施し、介護を担う方の認知度向上にも努めていきたい。

**家族を支える\*ヤングケアラー実態を把握し適切な支援を**

**Q** ヤングケアラー支援として、中学生への実態調査、学校スタッフへの研修や情報共有の仕組みづくり、そしてヤングケアラーが気軽に相談できる場所づくりが必要では。

**A** 県の実態調査の結果から、本市にも潜在的にヤングケアラーがいると認識したところであり、本市での調査に向け準備を進めていく。今後支援の在り方について学校スタッフへの研修などを行うとともに、さわやか相談員やSNSによる相談窓口なども周知し、

児童生徒が相談しやすい環境づくりに努めていく。また、スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーなどと情報を共有し、必要に応じ各区支援課や福祉課などとも連携を図り、きめ細かな支援が行える環境を整え、その充実に努めていく。

**施設内感染を防ぐため定期的なPCR検査の実施を**

**Q** 医療機関、介護・福祉施設、保育園、学童クラブなどで働く職員へのPCR検査を、当面は市の責任で定期的に実施し、その財源は国に求

めるべきと考えるが、見解は。施設職員に感染が疑われる症状がある場合は、無症状の職員については、まずは日々の生活で十分な感染防止対策と施設での体調確認により、有症状者を早期に把握することが重要と考える。公費による定期的な検査は、有効性を確保するため医学的にどのくらいの検査間隔が必要か、現在行われている行政検査をどのくらい圧迫するか、また財源の確保などの課題がある。今後も国や県の動向および感染状況を注視し、対応を検討していく。

施設でのサービスを継続するため感染症対策を行いながら働く職員



めるべきと考えるが、見解は。

**A** 施設職員に感染が疑われる症状がある場合は、無

症状の職員については、まずは日々の生活で十分な感染防止対策と施設での体調確認により、有症状者を早期に把握することが重要と考える。公費による定期的な検査は、有効性を確保するため医学的にどのくらいの検査間隔が必要か、現在行われている行政検査をどのくらい圧迫するか、また財源の確保などの課題がある。今後も国や県の動向および感染状況を注視し、対応を検討していく。

**新型コロナ対策  
今、市は何ができるのか**

**Q** 新型コロナウィルス感染症対策について、市の役割をどう考えているか。また、市立病院の旧病棟を新型コロナ対策の拠点とする提案を4月にしたが、市の対応は。

**A** 本市では、市民の命と健康を守るため、県などと緊密に連携し、広域的な感

染拡大防止策を講じるとともに、医療・検査体制の整備やクラスター対策などを最大限行ってきた。ひとり親家庭への給付金など市民生活を支える様々な取組みを行いながら、地域経済をしっかりと回していくことも併せ、総合的に対応すべきと考えている。また、市立病院の旧病棟については、発熱外来に対応できるように施設を整備し、新型コロナや季節性インフルエンザに対応していくことを決定した。

**教育・文化**

**義務教育学校を設立し  
根本的な教育の変革を**

**Q** これからの教育は、子どもの成長過程に準じ、系統的に学びを深化させていく必要がある。そのためにも義務教育学校を設立すべきと考えるが、市の見解は。

**A** 本市では、令和3年度から教科担任制を条件の整った小学校へ導入していく。令和5年度には、すべての市立

小学校の高学年への導入を目指しており、西原小学校・中学校は、教科担任制を人事配置も含めて研究するモデル校の一つとして考えている。義務教育学校は、4・3・2制など柔軟に学年を区切ったり、9年間を見通して学習内容を入れ替えたりするなど、弾力的な教育課程を実践できる。将来的には、義務教育学校を実現したいと考えており、その第一歩として、小学校教科担任制を着実に推進していく。

**熱中症予防などのため  
中学校に自動販売機の設置を**

**Q** 熱中症対策の一環として、また、防災機能の強化や感染症拡大防止のためにも、中学校への飲料の自動販売機設置を進めるべきと考えるが、市の見解を伺う。

**A** 市立学校では、児童生徒の熱中症事故防止のため水筒の持参を認めているが、それでは足りないこともあると聞いている。自動販売機の設置は、熱中症対策に加え、避難所としての防災機能の強化、学校利用

者の利便性向上のほか、自主財源の確保も図られる一方で、生徒の適切な金銭の管理方法などを整理する必要がある。自動販売機利用の適切なルールを教職員と生徒で議論し解決を図ることは、重要な教育活動にもなりうると思えており、学校の要望も聞きながら設置するよう検討していく。

**公園でのボール遊び  
子どもが納得できるルールを**

**Q** 原則ボール遊びが禁止されている公園については、多様な地域の声を調整し、子どもたちも納得できる公園の利用ルールを再構築すべきと考えるが、市の見解を伺う。

**A** 本市では、新規の公園整備やリニューアルの際、要望に基づき、地域の合意形成が図られ、安全性の確保や騒音などの問題が発生しない広さの大規模公園などにおいて、ボール遊びが可能なスペースを設けている。また、国の法改正により、地域住民や愛護会などで公園利用のローカルルールを



太田道灌のひ孫に当たり、戦国時代末期に関東で活躍した武将「太田資正(三楽齋)」

「太平記拾遺」「四十六」「太田三楽齋」  
(東京都立中央図書館特別文庫室所蔵)

決めていくための協議会の設置が可能となった。どのようなボール遊びならば地域に受け入れられるか、柔軟な活用について検討していくとともに、現状把握、利用者への調査などなるべく早くに行いたい。

**岩付城主「太田資正」  
生誕500年の特別企画を**

**Q** 上杉謙信、織田信長、豊臣秀吉とかかわりを持った岩付城主「太田資正」という戦国武将の魅力と活躍に注目し、生誕500年を機に市立博物館で特別企画展に取り組みないか。

**A** 市立博物館で実施している特別展や企画展のテーマは、2、3年程度の調査・研究を経たうえでその成果を公開しており、令和3年度についてはすでに他の展示準備を進めている。しかし、生誕500年を迎える戦国武将の太田資正を重要な歴史資源として広く市民に伝えることは大切であると考えている。令和3年度は、市立博物館に特設コーナーを設け、同館などで収蔵する潮田家文書、東角井家文書、大般若経など、太田資正に関係の深い10数点の貴重な古文書などを資料に用い、その事例を紹介していきたい。



経済・産業

農・食・観光拠点の整備  
市民への丁寧な説明を

Q

見沼区内で予定されている「農業及び食の流通・観光産業拠点」の一体的整備事業には、地域住民から不安の声が上がっている。予定地の\*環境アセスメントを行い、説明会を丁寧に行うべきではないか。

A

「食肉中央卸売市場・と畜場」および「地域経済活性化拠点」については、今後、騒音・振動・水質などの中から地域特性などを考慮して評価項目を決定し、\*環境影響評価条例に基づく調査を実施する。市場・と畜場における加工用の水利用や、地域経済活性化拠点での車の出入りなどといった施設特性に配慮するとともに、地域住民からの要望なども踏まえて評価項目を決定・実施し、結果を設計に反映することで、不安を解消していきたい。今後も住民への説明や意見交換を重ね、丁寧な事業を進めていきたい。

まちづくり・環境

荒川第二・第三調節池の整備  
本市の環境影響評価は

Q

近郊緑地保全区域と鳥獣保護区に係る荒川第二・第三調節池の整備に対する国の対応は、動植物などの生態系への調査が不十分であると考えるが、市の見解を伺う。

A

現在、事業者である国から、荒川第二・第三調節池の整備に関する環境影響評価準備書が提出され、本市の環境影響評価条例に基づき手続きを進めている。これまでに、市民などからは動植物や生態系などの自然環境に関する意見書も提出されており、市としては、国の準備書や市民などからの意見書について、環境影響評価技術審議会での審議を予定している。年度末には、審議会の答申を踏まえ、準備書に対する市長意見を事業者に送付し、必要な修正などを行ったうえで環境影響評価書が作成、提出されることとなる。

市民の願いを重く受け止め  
川越線複線化の実現を

Q

川越線複線化を求める署名活動が地元自治会などを中心に行われ、3万筆近くが寄せられている。この署名を重く受け止め、JRに働きかけていく強い意志はあるのか。

A

川越線の早期複線化を求める署名活動が西区と北区の沿線地域で行われ、多くの署名が集まっている。このことは、川越線の利便性向上や複線化に対する多くの市民の大きな期待の表れであると認識している。本市としては、こ

まちづくり事業の進展とともに  
多くの沿線住民は複線化も望んでいる



た市民の思いがあることを念頭に置き、沿線の土地区画整理事業や大宮駅周辺の再開発事業など、これからのまちづくりの計画や進捗状況をJRにしっかりと認識してもらえような場を設定し、積極的に働きかけを行っていききたい。

特殊車両が通行する道路  
どのように管理しているのか

Q

特殊車両の通行を許可した路線では、車両の重量による道路の損傷が懸念される。道路管理者としてどのように対応しているのか、制度の概要や管理体制について伺う。

A

特殊車両通行許可制度とは、幅2.5m、高さ3.8m、長さ12m、総重量20tなどの基準を超える車両が道路を通行する際に、道路管理者の許可を要するものである。道路管理者は、車両幅に対し通行が可能な道路か、交差点を曲がれるか、橋を通行できる重量などを審査し許可している。通行を許可した路線は舗装の損傷が懸念されるため、許可台数が増加している

\*環境アセスメント(環境影響評価)

大規模な開発事業が環境に及ぼす影響を事前に調査・予測・評価し、その結果を公表することにより広く市民の意見を求め、環境への影響をできる限り少なくしようとするもの。



路線のパトロール回数を増やすことや、交通管理者と連携して特殊車両の適正な通行について取締りを実施するなどの対応を図っていきたい。

### 桜区の水害対策のため 貯留施設の設置も検討すべき

**Q** 桜区を流れる油面川の水害対策として、排水機場の早期完成を望む。また、被害を軽減するため、隣接地域に貯留施設の設置を検討すべきと考えるが、市の見解は。

**A** 油面川排水機場は、完成予定時期を当初の令和5年春から同4年夏までに早めて整備を行っている。令和元年の豪雨により多くの被害を受けた桜区新開地区と周辺においては、同排水機場の整備効果を検証するためのシミュレーションを実施し、さらなる対策の検討を行っている。また、開通済みの道場三室線の下には雨水流出抑制対策として貯留施設が整備されており、今後の延伸部にも同様に整備する予定である。今後も国や県、近隣市と連携し、

流域の治水対策としてハード面・ソフト面での対応を行っていく予定である。

### 地下鉄7号線の延伸 市全体におよぼすメリットは

**Q** ポストコロナ時代に国道16号周辺地域の住宅需要は地価と利便性からさらに高まると考えられ、地下鉄7号線延伸は本市全体にメリットがあると考えますが、市の見解は。

**A** 本市では、学識者などで構成された地下鉄7号線延伸協議会において、延伸のメリットを、鉄道ネットワークの効果、まちづくりとの連携、高齢社会への対応、高速道路と鉄道の連携、環境負荷の軽減の5つに整理した。この中には、利便性の向上や雇用機会の拡大、東部地域の成長・発展への寄与などが含まれると考えている。また、市全体の均衡ある発展により、東日本の中核都市づくりが推進されると考えており、本市の発展を担う大変重要な事業として、引き続き延伸実現に向け取り組んでいきたい。

### 中浦和駅周辺のまちづくり 地域への市のサポートは

**Q** 西堀連合自治会を中心に、「中浦和駅北口周辺改善まちづくり協議会」が発足した。市は協議会をどのようにサポートし、まちづくりにかわっていくのか、見解を伺う。

**A** 西堀連合自治会と西堀地区の10自治会の連名で提出された要望書の内容について、定期的な話し合いの場を持ちながら、協議会と市の役割を整理し、地域の方々の発意で中浦和駅北口周辺のまちづくりが進められるよう連携を図っていきたい。今後の長期的なまちづくりの方針の検討に当たり、本市としては、地元との協働によるまちづくりを進めるため、協議会との相互理解のもとそれぞれが役割を担い、実現に向けてサポートを行っていきたい。

### 緑のヘルシーロードに 街路灯の設置を

**Q** 見沼代用水沿いの「緑のヘルシーロード」は、



ヘルシーロードは散歩やサイクリングのほか住宅地では生活道路としても利用されている

通学路や生活道路としても利用されている。市民の安全を守るため、夜間通行時に犯罪や事故に遭わないよう、街路灯を設置すべきと考えるが、見解は。

**A** 緑のヘルシーロードは本市の道路照明施設置基準の対象ではないが、一部の区間については小・中学校の通学路に指定されるなど、地域住民の生活道路として利用されている。今後、防犯上の観点から、一定程度の灯りが必要であると考えられる場所については、隣接する公道などを有効に活用しながら、公衆街路灯の設置を検討していく。

## 小学生が議会体験 議員に質問も

11月11日、地方公共団体の議会の仕組みを学ぶため、与野南小学校6年生の児童41人がさいたま市議会を訪れました。児童は議員席に座り、議長役の進行で、「臨時会」が開催されました。児童らは、「なぜ議員さんになったのですか」「一日のスケジュールは」「議会で一番大変なことは何ですか」などと質問し、議長、副議長など6人の議員が真剣に答えました。さいたま市議会では、未来を担う子どもたちに市議会や市政に関心を持ってもらえるよう、今後も積極的に協力してまいります。



質問した  
田村結花さん



議長役の  
山下紘平さん



やりとりを真剣に見守る児童たち



議長の椅子の座りごこちは？

さいたま市議会からの

お知らせ



### 市議会テレビ広報番組 「ようこそさいたま市議会へ」を ご覧ください

市議会の活動状況などをわかりやすく紹介する番組を、年4回、毎定例会後にテレビ埼玉で放送しています。過去の放送内容も、市議会ホームページやYouTubeで動画配信を行っています。ぜひご覧いただき、ご意見・ご感想をお寄せください。

さいたま市議会 テレビ 検索



※放送日時など、くわしくは秘書課(Tel.829-1748)へお問い合わせください。

### 請願・陳情を 市議会に届けるには？

市政などについての意見や要望があるときは、どなたでも「請願」「陳情」を文書で市議会に提出することができます。

#### 請願

請願書の提出には、市議会議員の紹介が必要です。審査のうえ、本会議では「採択」「不採択」などが決められます。採択された請願は市長などに送り、実現するよう要請します。

#### 陳情

陳情書の提出には、市議会議員の紹介は必要ありません。陳情内容が記載された陳情文書表を議員に配付します。

#### 提出先など

提出先:さいたま市議会 議会局  
提出方法:持参または郵送(FAXや電子メールは不可)  
くわしくは議事課(Tel.829-1753)までお問い合わせください。



ロクマル キーワード  
**Keyword**

12月定例会の中から気になる言葉を取り上げ、解説します。



『DX～デジタルトランスフォーメーション～』  
(Digital Transformation)

デジタル技術の活用で人々の生活を豊かに

DXとは、広義には「進化したデジタル技術の浸透が、人々の生活をより良い方向に変化させる」という意味で、2004年にスウェーデンのストルターマン教授が提唱した概念です。日本では、国が「将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること」と位置付け、企業がDXを推進するためのガイドラインを作成したことから、ビジネスシーンなどで注目を集めるようになりました。

ポストコロナ時代に対応したDXの推進

近い将来、日本の多くの企業では、既存のITシステムが老朽化することで、企業の成長が妨げられるなど「2025年の崖」と呼ばれる問題が生じると警告されています。変化し続ける社会の中、本市においても、窓口のオンライン化をはじめとした市民サービスの向上や市役所業務の効率化を図るため、令和2年11月にさいたま市DX推進本部を設置しました。ポストコロナ時代に求められるデジタル優先の行政運営への転換を目指しています。

※「Digital Transformation」の略称は、英語圏では一般的に「Trans」を「X」と略すため、「DT」ではなく「DX」と表記しています。

編集後記

議会広報編集委員会

今号から、表紙のイラストをリニューアルしました。各区の魅力をシンプルな「模様」で表現し、飾って取っておきたいようなデザインを目指します。今後どうぞお楽しみに。トピックスでは、俳優の大野拓朗さんへのインタビューを行いました。海外も視野に入れ活躍する大野さんは、地元さいたま市への愛着もあふれる、とても気さくな方でした。さて、まもなく始まる2月定例会では、次年度の予算審査が行われます。今後もしさいたま市議会にぜひご注目ください。

- [委員長] 渋谷佳孝 [副委員長] 高柳俊哉  
[委員] 出雲圭子 富田かおり 石関洋臣  
服部 剛 新藤信夫 谷中信人  
江原大輔 神田義行 萩原章弘

さいたま模様



開閉美演の様子

今号の表紙は

緑区

- 見沼通船堀 ●サクラ
- シラサギ

見沼通船堀は、見沼代用水と芝川を結ぶこうもん閘門式運河です。1731年に開通し、農産物などを江戸へ運ぶ水上交通の要として昭和初期まで活用されました。「新」の旗は「新しい水路(新川)」の意といわれ、幕府の許可を得た船であることを示しています。

次の定例会は  
**2月2日(火)～**

会期日程は、ホームページをご覧ください。くわしくは議事課(Tel.829-1753)までお問い合わせください。

本会議・委員会の傍聴

開催日当日、議会棟3階で受付しています。

※感染症予防のため、傍聴はできる限りお控えください(本会議はインターネット議会議中継でご覧になれます)。



インターネット中継

会議の様子をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも!



テレビ番組

「ようこそさいたま市議会へ」テレビ埼玉  
令和3年3月28日(日) 午前10時～ 放送予定  
過去に放送した番組も市議会ホームページで配信しています。

